

第47回全国学童保育研究集会が18年ぶりに埼玉県で開催されます！

ありがとう！ あってよかった 学童保育

2012年10月6日(土) 全体会
さいたまスーパーアリーナ

2012年10月7日(日) 分科会
獨協大学(草加市)

全国から
6000人が
集まります！



皆さん全国研に参加しませんか!?
昨年は10月22日～23日に石川県で開催され、41都道府県から3,725人が参加しました。
写真は昨年の全体会で行われた学童保育の子どもたちによる歓迎行事の様子です。



初めて全国研に参加したのは2004年でした。大阪に5000名くらいの人々が集まっています、衝撃的でした。熱意のある方たちが集まっていました。(深谷市・指導員)

『この日の為にみんなが色々な場所から集まったんだ』と思うと、それだけですごく気持ちが高揚した。美味しい地の物も食べれるし、参加しないと分からない独特の空気があった。(日高市・保護者)

学童保育の“絆”を感じあえる場。それが全国研。宝物がいっぱい見つかります。(上尾市・指導員)

全国からあれだけの人が参加費を出して勉強に来るなんて“学童”ってやっぱりスゴイ!! (八潮市・指導員)



毎年いろんな場で開かれる全国研。日本中の学童が集まって、素晴らしいお話に涙し、各地の報告に感心し、発言してまた楽し、その上観光も...? 毎回、楽しみなイベントです。(日高市・指導員)

全国から集まった学童保育関係者のパワーに圧倒され、一つでも多く学ぼう! という気持ちになった。(草加市・保護者)



東日本大震災で被災された方々への
応援募金もご協力お願いいたします。

「全国研 in 埼玉」ニュース 第1号 (2012.4.7発行「全国研 in 埼玉」実行委員会広報部)

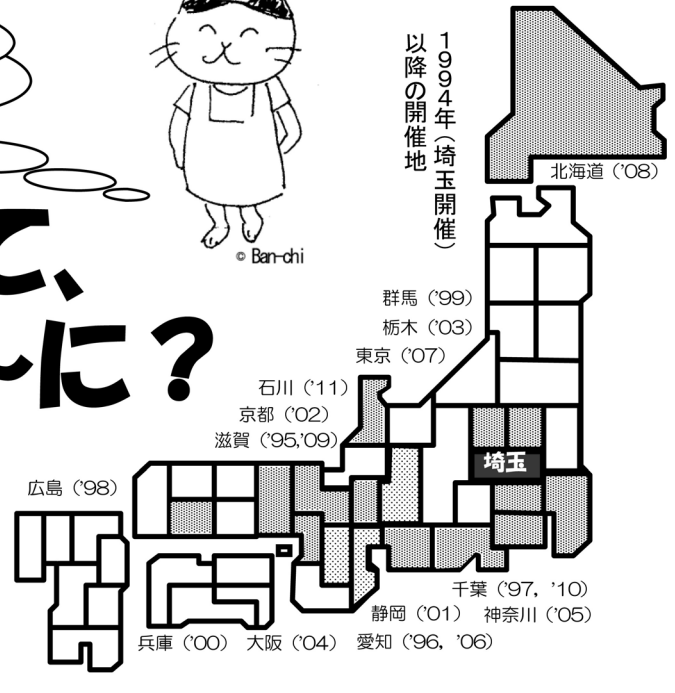
●連絡先: 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-147-1 藤本ビル3F 埼玉県学童保育連絡協議会

●TEL: 048-644-1571 / FAX: 048-644-1572 ●ホームページ <http://www.sai-gakudou.com/>

18年ぶりの埼玉開催！
スルーするのは、もったいにゃ～



1994年(埼玉開催)
以降の開催地



「ぜんこくけん」って、 なあ～に？

● 正式には、全国学童保育研究集会といいます。でも、長いし、堅苦しい感じなので、たいてい「全国研」って呼ばれています。「研究集会」とはいいますが、中身は「学童保育のことをもっと知りたい」「よりよくなりたい」と願う人たちが、日本全国から集まって学び合い、交流し、はげまし合う、気軽に参加できて、元気になれる場です。

● 第1回集会が開かれたのは1964年。子育てをする母親が働くことへの社会的な理解がほとんどなかった時代です。そのころ、学童保育は全国に数百家しかありませんでした。保護者や指導員が、学童保育をつくったり、運営したり、子どもが安心して過ごせるようにするためには、たいへんなことや、わからないことがたくさんありました。そこで、学童保育の関係者が、交流しながらはげまし合おうと開いたのがこの全国研です。

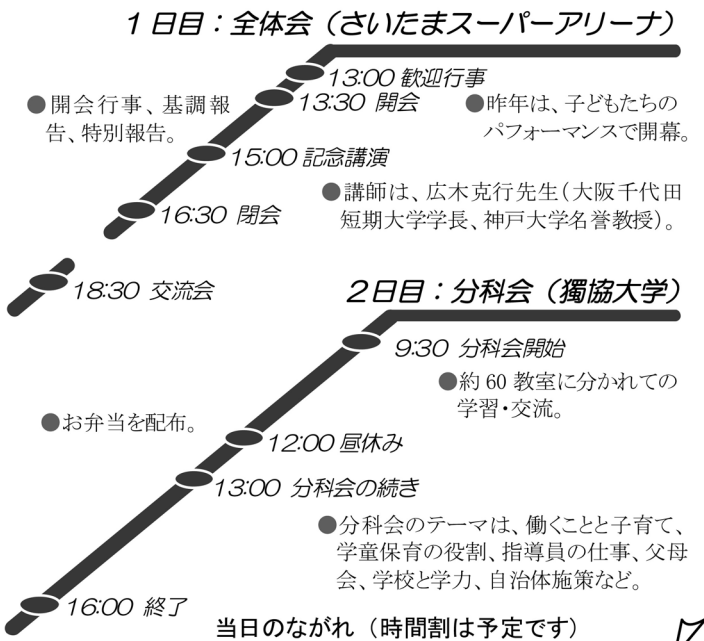
● 第1回集会の参加者は30人程度でした。以降、各地の保護者や指導員をはげまし続けてきた全国研。今年は埼玉に6000人が集まります。みなさん！この機会にぜひ一度、参加してみたいはかがでしょうか。

ありがとう！ あってよかった学童保育

- これまで、埼玉の多くの指導員と保護者が、他の地域の全国研で学び合い、元気をもらってきました。その恩返しとして「ありがとう」
- いまは、「あってあたりまえ」の学童保育も、はじめからそうだったわけではありません。学童保育をつくり、支え、よりよいものにしてきたみなさんがいるのです。そんなみなさんに「ありがとう」
- そしていま、学童保育があるからこそ、私たちは安心して働ける…。「あってよかった学童保育」に「ありがとう」

そんなことをふり返り、確かめ合いながら、みんなで学んで、語って、楽しんで、よりよい学童保育をつくっていけたら、いいですね。

● 1日目は全体会。記念講演では、働きながらの子育てや、子どもと向き合う指導員の仕事に役に立つ、子ども理解を深めるお話がうかがえるでしょう。2日目は分科会。数十の教室に分かれ、それぞれが選んだ自分のお気に入りのテーマで、一日学び、交流します。



自分たちのために自分たちがつくりあげる、当事者たちの学び合い

初めて参加した京都集会でのこと。一人でもとても不安だった私が一番乗りで分科会の教室に入ると、教室係とおぼしき方が「ほっ」とした表情で近づいてきて「あのお、講師の方ですか？」と尋ねてきたのでした。きっと、「うまく務めることが、できるかなあ…」と、とても不安な気持ちで、頼りにできる「講師」が来るのを待っていたのでしょう。

毎回、そんな保護者・指導員のみなさんの力がつくりあげている全国研なんですね(新座市・保護者OB)。